

拠出金名：アセアン私費留学生対策等拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				115,736千円	
国際機関等名	アスジャ・インターナショナル (英文名称・略称) ASJA (Asia Japan Alumni) International				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省広報文化交流部人物交流室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	115,736			円建て	100
平成19年度	104,841			円建て	100
平成18年度	106,197			円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	奨学金関係経費、留学生会支援経費、事務局運営経費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (20年度決算)	
	国名	金額 (千円)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	148,084千円
1位	日本	115,736	78.2	当該年度の支出	121,536千円
2位				次年度への繰越	26,548千円
3位				会計検査機関名	
4位				アイオーシー監査法人	
5位				(現在の構成員の出身国：日本)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>本事業に基づきアスジャ・インターナショナルが供与する奨学金は、ASEAN各国の帰国留学生会の協力を得つつ、将来当該国の指導層を形成する人材を育成するものであり、これら諸国とわが国との関係緊密化を図り、また地域の帰国留学生会のネットワークを活用するという外交的な要請にも合致している。今後、様々な分野で益々一体化が進展する東アジア諸国との相互理解の増進及び連携の強化に本事業は資するものである。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>アスジャ・インターナショナルは、ASCOJAと協力しつつ国費留学生では実施出来ないきめ細かい研修や交流プログラムを実施するとともに、アスジャ・インターナショナルのカウンターパートであるASCOJAの加盟国が平成18年度に新たに2カ国増えたことを受け、平成19年度からは、アスジャ・インターナショナルにおいても2カ国増の8カ国より奨学生を受け入れを開始し、アセアン学生の親日化・知日化や学生相互の連帯感の醸成により一層資している。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	3人 うち 1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	3人 100%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
事務総長		佐藤次郎		(財)日本語教育振興協会理事長 前(財)国際学友会理事長	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
特になし					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。